

沖縄大学で「沖縄労働局管内における現状と課題」等について
川口労働局長が講義（平成25年1月10日）



平成25年1月10日、沖縄大学法学部1年生を中心とした約120名を対象に、川口沖縄労働局長が「沖縄労働局管内における現状と課題」と題して講義を行いました。講義では、県内の労働市場の主な特徴として、全国と比較すると県内大学生の就職内定率が低いことや、離職理由（最も多いのは勤務先への不満）の内訳などを紹介し、併せて、労働時間、最低賃金（沖縄県は現在653円）など労働法制度について説明を行いました。

また、川口労働局長は「日頃から、なぜ大学に通っているかを考えること、新聞を読むこと、意識的に体力を向上すること、規則正しい生活習慣を心がけることが、就職後の社会に適応する力をつけるために必要」と学生にアドバイスしました。

現在、沖縄労働局では、大学生を対象に労働法制等の普及の取組を積極的に推進しており、川口労働局長の講義も今回で6回目となります。当日の講義の様子は、テレビニュースでも紹介されました。

なお、講義をはじめる前に、法定労働時間、労働保険など労働法等に関する簡単な質問票（アンケート）と解説シートを配布しました。アンケート結果を踏まえ、今後も引き続きこの取組を推進していくこととしています。

